

DISCUS 2

User Guide

更新：2002年3月

© 2002 Magic Mouse Productions
12615 Sir Francis Drake Blvd.
Inverness, CA 94937 USA

◆ Macintoshへのインストール

Discusはインストール過程なしで直ぐに使用可能です。Discusアイコンをダブルクリックすれば、ラベル作成が始まります。

Discusをハードディスクにコピーするには、Discus programとDiscus.opcアートデータベースファイルをお好きなフォルダにドラッグします。この2つのファイルのみがDiscusを操作する際に必要なものです。

◆ Windowsへのインストール

Discusはインストール過程なしで直ぐに使用可能です。Discusアイコンをダブルクリックすれば、ラベル作成が始まります。

Discusをハードディスクにコピーするには、Discus programとDiscus.opcアートデータベースファイルをお好きなフォルダにドラッグします。この2つのファイルのみがDiscusを操作する際に必要なものです。

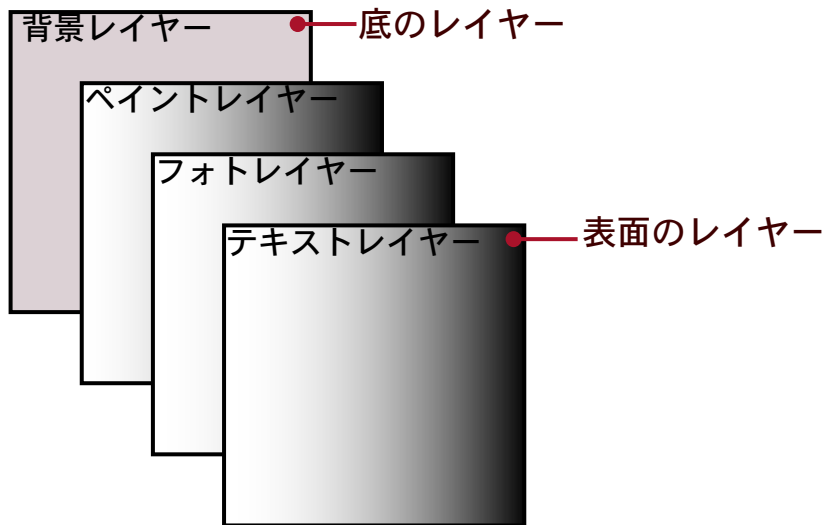
Discusの動作には、QuickTimeが必要です。

◆ ラベルを60秒以内に作成

- ① ラベルタイプを選択します。
- ② 背景となるデザインを選択します。
- ③ **ペイント** タブをクリックし、背景に各種ペイントツールを用いて描画することも可能です。
- ④ **テキスト** タブをクリックし、次に**新規**をクリックし入力します。必要に応じてテキストボックスの数を増やします。スライダーを操作することで、テキストの大きさと間隔を調節出来ます。テキストの色とフォントは画面下から選びます。
- ⑤ **写真** タブをクリックしてから**新規**をクリックし、ハードディスク上の写真又はグラフィックをインポートします。写真はマウスでドラッグするかキーボードの矢印を用いて行います。
- ⑥ **印刷** タブをクリックし、使用する紙を選択し **印刷** ボタンをクリックします。4方向の矢印を使って0.5mm間隔での位置調節も可能です。

◆ レイヤーの構成

各ラベルのデザインは、レイヤー構成となっています。各レイヤーの重なり順は下記の固定順となっています。



注意: 現在、レイヤーの順番は変更出来ませんので、写真の上からペイントを行うことは出来ません。したがって、レタッチに関しては他のソフトを用いて行う必要があります。

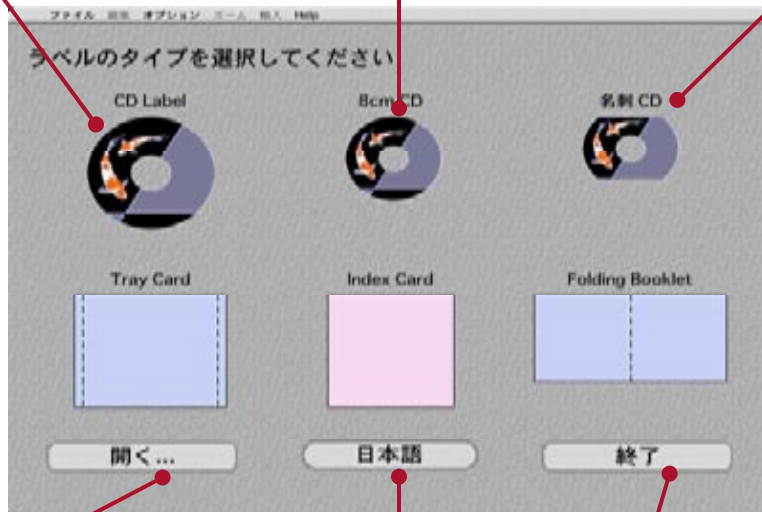
◆ プロジェクトセレクションスクリーン

プロジェクトセレクションスクリーンでは、使用するラベルタイプ、過去のプロジェクトを開く、言語選択を行います。

CD Label Project

Business Card CD Project

8 cm (Mini-CD) Project



前のプロジェクトを開く

言語を選択

プログラムを終了

◆ 背景デザインを選択

背景 タブをクリックすることで、ラベルの背景を選択出来ます。最初は白無地になっていますが、その他多くのデザインから選択可能です。画面下にそれらが表示されています。上下の矢印により、他の列を表示させ、“I” はインデックスで一度にそれらを表示します。



◆ ペイントツール

14種類のペイントツールを用いて、背景を描いたり、既存の背景をレタッチ可能です。

スプレー

消しゴム

ブラシ

つないで塗る

丸く塗る

アーチで塗る

四角で塗る



スタンプ

コピー／移動

塗りつぶし

四角

アーチ

円

ライン

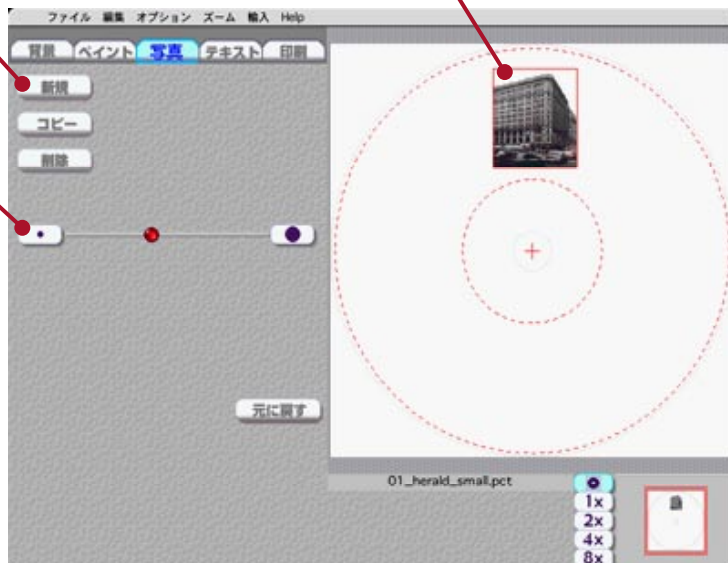
◆ 写真とグラフィックのインポート

JPEG, GIF, BMP, PICT, TIFF, PSD, ILBM, IFFといった様々な種類のビットマップグラフィックスをインポート可能です。グラフィックスをインポートするには**新規**ボタンをクリックしハードディスク上の画像を探します。インポート後は、スライダーを用いて画像のサイズを調整します。WMFといったベクターグラフィックフォーマットはサポートされていません。

マウスをドラッグして写真を移動

新規インポート

スライダー



◆ テキストの編集

新規をクリックして新しいテキストボックスを作成します。テキストは、直線、垂直ならびにカーブから選択出来ます。各テキストのサイズ、文字の間隔、行の間隔、色ならびにフォントを操作出来ます。現在、テキストボックスの制限は最大255文字で、約7行になります。

The screenshot shows a software interface for text editing. On the left is a toolbar with various text manipulation tools. On the right is a canvas showing a circular graphic with two curved text boxes, one at the top and one at the bottom, both containing the text "Waltz #1". A central text box contains "Niklaus Wirth". A font selection table is visible at the bottom of the interface.

Annotations with red lines point to specific features:

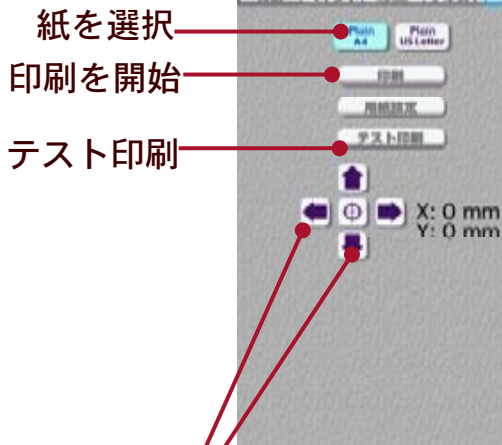
- 新規テキストボックス (New text box) - points to the "新規" button in the toolbar.
- 既存テキスト編集 (Edit existing text) - points to the "編集" button in the toolbar.
- テキストサイズ調整 (Adjust text size) - points to the size adjustment slider.
- 文字の間隔 (Character spacing) - points to the character spacing slider.
- 行の間隔 (Line spacing) - points to the line spacing slider.
- 角度調整 (Angle adjustment) - points to the angle adjustment slider.
- 上方カーブテキスト (Top curved text) - points to the top "Waltz #1" text box.
- 下方カーブテキスト (Bottom curved text) - points to the bottom "Waltz #1" text box.
- フォントを選択 (Select font) - points to the font selection table.

フォント			
ITCKabel Medium	ITCKabel Ultra	Impact	1x
Fontana Bold	Fontana Regular	Jazz	2x
Fontana	Fontana Bold	Khali Two	4x
LITHOS BLACK	LITHOS BOLD	LITHOS LIGHT	8x
LITHOS REGULAR			

◆ ラベルの印刷

ラベルデザインが完成したら印刷タブを使用して印刷出来ます。個々のラベルを解除するには、画面右側のチェックボックスをクリックします。現在、1回の印刷で異なった2つのラベルを印刷する方法はありません。

クリックして印刷を選択



矢印を使って印刷位置を調整

チェックボックスをクリックして、どちらのラベルを一度に印刷するのかわを選択。

◆ プリンター調整 - part 1

各用紙の製造工程に伴う差異とプリンターによる誤差のため印刷されたラベルがずれる可能性があります。テスト印刷により、その量を把握出来ます。テストパターン紙の左上に十文字があり、パソコンはこの印が紙の左上角から20mmと判断します。もし、この十文字がちょうど20mmでなければ、定規を使って違いを測って誤差を把握出来ます。



+

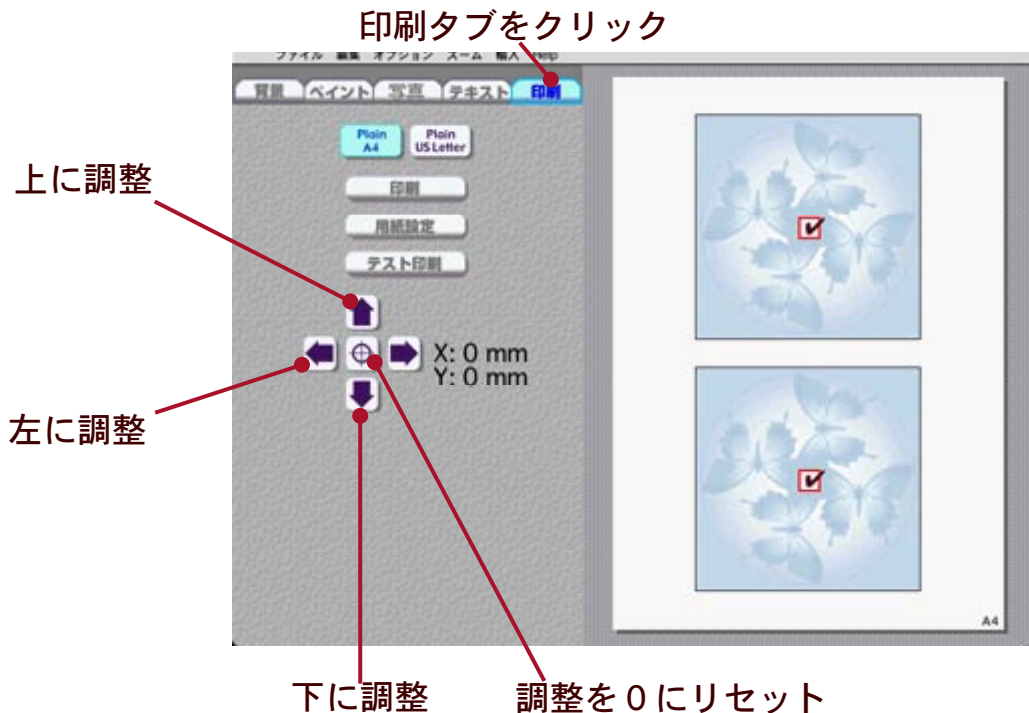
20 mm

十文字は、端から20mmと仮定。

(テストパターン印刷)

◆ プリンター調整 - part 2

印刷による誤差の調整を行うには、矢印ボタンを用いて0.5mm間隔で可能です。そこでの調整はセッション間では記録されていますが、一つの調整のみが記録されているので、プリンターを変更する際には、その数値を書き留めておくことを、お奨めいたします。



◆ Support

Discuss technical support is available through the following channels:

e-mail: support@magicmouse.com

tel: 1-415-669-7010 (10 AM - 7 PM PST, Monday-Friday)

fax: 1-415-669-7009

mail: Magic Mouse Productions
12615 Sir Francis Drake Blvd.
Inverness, CA 94937 USA

for more information about upgrades and other products, visit our web page at www.magicmouse.com

◆ Credits

This software was designed and written by Edward de Jong of Magic Mouse Productions of Inverness California, USA. Project management was by Jean Garrett. Contributing artists were Mark Ferrari, Jack Willis, Barbara Lawrence, and Rich Cohen.

The programming was done primarily in the Modula-2 computer language, invented by Prof. Niklaus Wirth of the Swiss Federal Institute of Technology. Modula-2, a successor to Pascal, is probably the cleanest computer language devised to date, and produces fast, reliable, and efficient software products.

The program was originally designed on a Macintosh computer, using the MPW development environment, and a compiler supplied by pl Gesellschaft für Informatik of München, Deutschland.

The Windows version of the program was developed using the Stony Brook Modula-2 compiler supplied by Gogesch Micro Systems of Thousand Oaks, California, along with a small amount of Intel assembler code for performance sensitive areas. The Windows version uses Magic Mouse's Quickdraw emulation layer, which allows a high degree of code sharing between the two versions.

We would like to thank our translators and the first thousand users, who have helped correct and improve the product with their many suggestions.